

北海道大学大学院文学研究院・大学院文学院・文学部
研究倫理審査申請書（様式1）・実施許可届出書（様式2）記入・提出要領

様式1 研究倫理審査申請書

<記入要領>

記入欄が足りない場合は、スペースを拡大して記入すること。この場合は2ページを超えても構わない。

1. 研究テーマ

調査・実験の内容がわかるような具体的な研究テーマを記入すること。

2. 研究期間、調査・実験期間

研究期間には、調査・実験をふくめて研究全体の期間（研究に着手してから成果の報告までを目安とする）を、調査・実験期間には、申請しようとする調査の実査・実験を行う期日・期間を記入すること。

3. 研究責任者・申請者

研究責任者は、北海道大学大学院文学研究院・大学院文学院・文学部（以下「研究院等」という。）に所属する教職員及び学生（研究生・科目等履修生・聴講生は除く）、並びに研究院等で受け入れている研究員に限られ、申請者を兼ねることとする。

のいずれかをチェックすること。研究員については、学振特別研究員、共同研究員、専門研究員等の名称を括弧の中に記すこと。ただし、学振特別研究員のDC1及びDC2は、博士後期課程にチェックするだけで良い。

共同研究の場合も、責任者を1名記入すること。学生及び研究員が研究責任者の場合は、実施許可届出書（様式2）を添付しなければならない。

所属については、教職員は講座名等を、学生はコース名と学年を、大学院生は専修名と学年を記入すること。研究員は記入する必要はない。

4. 共同研究者

共同研究者がいる場合のみ、共同研究者全員の所属機関名・部局名、職名（学生の場合は学年、研究員の場合はその旨）、氏名を列挙すること。

5. 研究計画

①研究の目的と内容：調査・実験を含めて「1. 研究テーマ」で示した研究全体で、何をどこまで、どのようにして明らかにするのかを、具体的に記入すること。実験の場合には、用いる機器の種類・名称も記入すること。調査の場合には、調査するおもな項目を列挙すること。可能な限り調査票を添付することが望ましい。また科学研究費補助金・受託研究費などを受領している場合には、その名称も記入すること。

②研究にとって調査・実験が必要な理由：①研究の目的を達成するために、調査・実験が必要な理由を記入すること。とくに調査の場合には、公開データによる2次分析で目的が達成できないか検討した経緯を記入すること。

③調査対象者・実験参加者の男女別・年齢別人数：記入の段階で年齢について詳細が不明の場合は、年齢層（たとえば20歳代）ごとに男女別の人数を記入すること。

④調査対象者・実験参加者の選定方法：どのように調査対象者・実験参加者を募集あるいは選定す

るのかを具体的に記入すること。とくに母集団名簿から抽出する場合には、名簿の所有者・掲載者数・掲載項目、そこからの抽出方法、実際の抽出作業に携わる者の氏名を明記すること。また実査を調査会社などに委託する場合には、調査会社の名称と、調査対象者・実験参加者の選定方法に関する調査会社との契約内容を記入すること。

⑤調査・実験を行う場所・地域：調査を行う地域、あるいは実験を行う場所を、できるだけ詳細に記入すること。

⑥調査・実験に要する時間・回数：1人の調査対象者・実験参加者について1回の調査に回答または実験を行うのに必要な時間を記入すること。1人の調査対象者・実験参加者について複数回の調査・実験を行う場合にはその回数も記入すること。

⑦調査対象者・実験参加者への謝礼の有無とその額：謝礼に関して調査対象者・実験参加者1人あたりの金額を記入すること。

6. 調査対象者・実験参加者の個人情報の扱いについて

①調査・実験に必要な個人情報の内容：「5. 研究計画」で記入した内容との重複を厭わず、調査・実験を行うにあたり必要な個人情報の内容すべてをあらためて記入すること。なお、ここでいう個人情報の内容とは、氏名・年齢・生年月日・性別・住所など個人を特定できる情報を指す。

②調査・実験を通じて収集する個人情報の内容：調査・実験を通じて収集する個人情報の内容すべてを記入すること。

③①②の個人情報を保護するための具体的な方策：①②の個人情報が、当該調査・実験に携わる者の間でどのように管理され、また外部者（携わる者以外）へ流出しないような方策がとられるのかに関して、(ア) 調査・実験期の期間中 (イ) 報告など研究成果の公表の段階 (ウ) 研究終了後に分けて、それぞれ具体的に記入すること。

7. 実験参加者の心身への影響に対する配慮

それぞれに対する配慮の内容を、実験の場合のみ具体的に箇条書きで記入すること。

8. 調査対象者・実験参加者から理解と同意を得る方法

①調査対象者・実験参加者への説明方法：調査対象者・実験参加者への説明が書面・口頭のいずれ（また双方）で行うかを明示したうえで、その書面・口頭の内容を記入すること。

②同意書の扱い：調査対象者・実験参加者からの同意書の扱いについて、いずれかの番号を○で囲み、必要に応じて説明を加えること。

9. 研究倫理の審査を必要とする理由

研究倫理の審査を必要とする理由を具体的に記入すること。

<提出方法>

庶務担当に電子ファイルで送信すること。折り返し庶務担当から受付番号を記した受信確認を送信します。

様式2 実施許可届出書

様式2は、研究責任者が学生及び研究員の場合のみ、提出すること。

<記入要領>

1. 研究テーマ、2. 研究期間、3. 研究責任者
いずれも様式1と同じとすること。

<提出方法>

様式1を電子ファイルで提出後、庶務担当に紙媒体で提出すること。

問い合わせ先・提出先：庶務担当 内線 3003 wwwadmin@let.hokudai.ac.jp